

通信ソフト概要

CsvLogDLC.exe は、シリアル通信で送られてくる CSV ファイルを受信して、ファイルに格納するソフトウェアです。
機能的には他の通信ソフトウェアでも実現されていますから、使い慣れたソフトウェアをご使用ください。
本ソフトウェアの特徴は、次の3点です。

(1) タイムスタンプの付与

CSV レコードを受信した時刻をレコードの先頭に付与します。
残念ながら、VB 実行中の時刻なので、画面描画や他のアプリケーションなどにより処理が遅延した場合は、遅延した時刻をそのまま付与しますので、正確さには欠けます。

(2) ファイル出力

受信した CSV レコードをファイルに格納します。
ただし、0.1 秒ごとに送られてくるレコードが膨大な量になるので、付与した時間によってファイルを分割し、ファイル名によってディレクトリを変えています。
ファイルは30分単位で分割しています。ディレクトリとファイル名は次になります。
YYYYMM\YYYYMMDD\MMDDHHMM.csv

(3) 画面表示

アプリケーションの画面に、受信 CSV レコードを表示します。
一般的な通信ソフトのように一行にずらずらと表示しても見にくいので、カンマごとに改行して表示します。このため、通常の CSV テキストを表示すると、かえって見にくい場合があります。
こんかいのデータロガーでは、送信側の CSV レコード編集処理で、カンマで区切られているない表示のためのデータを一緒に送っています。
一般的な表計算ソフトでは、カンマだけでなくスペース区切りなどでも分離でき、若干冗長ではありますが、このような方法にしています。

